

■文学部 アジア文化学科

○中学校教諭一種免許状（社会）

・ 目指す教員像

【教職に対する使命感】

- ・ 中学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・ 教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・ 生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

【確かな学力と実践的指導力】

- ・ 教育の理念を踏まえ、生徒の学びを豊かにする教員
- ・ 日本やアジア、世界の地理的事象や歴史の動きをよく理解した教員
- ・ 現代社会の抱える、政治的、経済的諸問題を理解し、客観的で公正な見方ができる教員
- ・ 仏教など多様な世界観、人生観を身につけた教員
- ・ 日本、アジア、国際社会へと生徒の興味・関心を広げることができる教員
- ・ 中学校学習指導要領の内容を理解し、教科の特質に応じた学習過程の構築ができる教員
- ・ 現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・ 思春期の発達課題を理解し、個に応じた指導・支援ができる教員
- ・ アクティブ・ラーニングやICTを効果的に活用できる教員

【豊かな人間性】

- ・ 人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・ 仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わるができる教員
- ・ 教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

・ 教職課程カリキュラム (2023 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考
日本史・外国史	日本史Ⅰ	必	2	4 単位以上修得すること	「社会学、経済学」	経済学概論 (国際経済学を含む)	必	2	
	世界史	必	2			社会学概論	必	2	
	日本史Ⅱ	選	2			アジア経済論	選	2	
	近代日本とアジア	選	2			アジア女性労働論	選	2	
	仏教美術史	選	2		「哲学、倫理学、宗教学」	仏教と人間Ⅰ	必	2	
	日本美術史	選	2			仏教と人間Ⅱ	必	2	
	東アジア近現代史	選	2			哲学	必	1	
	東南アジア近現代史	選	2			倫理	必	1	
	南アジア近現代史	選	2			アジアと仏教	選	2	
	日中交流史	選	2		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	社会科教育法Ⅰ	必	2	
地理学 (地誌を含む。)	自然地理学	必	2	社会科教育法Ⅱ		必	2		
	人文地理学	必	2	社会科・地歴科教育法Ⅰ		選	2	社会科・地歴科教育法Ⅰ・Ⅱ 2 科目 4 単位又は社会科・ 公民科教育法Ⅰ・Ⅱ 2 科目 4 単位修得すること	
	地誌学	必	2	社会科・地歴科教育法Ⅱ		選	2		
	海域文化交流論	選	2	社会科・公民科教育法Ⅰ		選	2		
	シルクロード文化交流論	選	2	社会科・公民科教育法Ⅱ		選	2		
	イスラム地域文化論	選	2						
	中国の少数民族文化	選	2						
「法学、政治学」	政治学概論 (国際政治学を含む)	必	2						
	法学 (国際法を含む)	必	2						
	アジア政治論	選	2						
	東アジア地域協力論	選	2						

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 38 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 28 単位)

「教育の基礎的理解に関する科目等」							
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目		単位	備考	
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育指導論	必	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2		
	特別活動の指導法		教育方法論 (ICT の活用含む)	必	2		
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2		
	生徒指導の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	5	中等教育実習指導	必	1		
			教育実習Ⅰ	必	4		
			教育実習Ⅱ	選	2		
	教育実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	必	2		

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 29 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 27 単位)

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単 位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単 位	備考				
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2				
		特別活動実習	必	1	体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	1				
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。							女性とウエルネスⅠ	選	1	1 単位以上修得すること			
											女性とウエルネスⅡ	選	1
								外国語コミュニケーション	2	英語スキルズⅠ	選	1	2 単位以上修得すること
										英語スキルズⅡ	選	1	
										フランス語Ⅰ	選	1	
										フランス語Ⅱ	選	1	
										中国語Ⅰ	選	1	
										中国語Ⅱ	選	1	
								数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	韓国語Ⅰ	選	1	
										韓国語Ⅱ	選	1	
						情報処理基礎演習	必	1					
						データサイエンス基礎演習	必	1					
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位					「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：8 単位								

「介護等の体験」(小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律による)					
介護等の体験 (障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験)	法定期間 7 日間	本学実施	社会福祉施設・特別支援学級 特別支援学校	5 日間 2 日間	2 年次に実施

・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等						
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項		
1 年次	前期	○日本史Ⅰ	○教職入門		△女性とウエルネスⅠ	履修説明会	
		○世界史			△英語スキルズⅠ		
		○政治学概論(国際政治学を含む)			△フランス語Ⅰ		
		○経済学概論(国際経済学を含む)			△中国語Ⅰ		履修開始手続き
		○仏教と人間Ⅰ			△韓国語Ⅰ		
		○哲学			○情報処理基礎演習		
	後期	△日本史Ⅱ	○中等教育原理		△女性とウエルネスⅡ	履修オリエンテーション	
		△東アジア近現代史	○教育心理		△英語スキルズⅡ		
		△東南アジア近現代史			△フランス語Ⅱ		
		△南アジア近現代史			△中国語Ⅱ		
		○法律学(国際法を含む)			△韓国語Ⅱ		
		○仏教と人間Ⅱ			○データサイエンス基礎演習		
		○倫理					
		△アジアと仏教					
2 年次	前期	○人文地理学	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き	
		○地誌学	○特別支援教育論		○ウエルネス・スポーツ論		
		△海域文化交流論					
		○社会学概論					
	後期	△近代日本とアジア	○教育課程論	○人権教育		介護等体験 (8月～3月 7日間)	
		△仏教美術史	○教育方法論(ICTの活用を含む)				
		○自然地理学					

		△イスラム地域文化論				履修オリエンテーション	
		△アジア政治論					
		△東アジア地域協力論					
		△アジア経済論					
3年次	前期	△日中交流史	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き	
		△中国の少数民族文化	○生徒・進路指導				
		△アジア女性労働論					
		○社会科教育法Ⅰ					
		△社会科・地歴科教育法Ⅰ					
	△社会科・公民科教育法Ⅰ						
	後期	△シルクロード文化交流論	○道徳教育指導論	○特別活動実習			履修オリエンテーション
		○社会科教育法Ⅱ	○学校教育相談				
△社会科・地歴科教育法Ⅱ							
△社会科・公民科教育法Ⅱ							
4年次	前期	△日本美術史	○中等教育実習指導			履修継続手続き	
			○教育実習Ⅰ				
	後期		○教職実践演習(中・高)			免許状授与申請	

・教職課程カリキュラム (2022 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」								
施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考	
日本史・外国史	日本史Ⅰ	必	2	6 単位以上修得すること	「法学、政治学」	政治学概論Ⅰ	必	2
	日本史Ⅱ	必	2			政治学概論Ⅱ	必	2
	世界史Ⅰ	必	2			法学 (国際法を含む)	選	2
	世界史Ⅱ	必	2		「社会学、経済学」	経済学概論Ⅰ	必	2
	ビジュアル日本史	選	2			経済学概論Ⅱ	必	2
	近代日本とアジア	選	2			社会学概論	選	2
	日本思想史	選	2			現代中国と教育	選	2
	仏教美術史	選	2		「哲学、倫理学、宗教学」	仏教学Ⅰ	必	2
	日本美術史	選	2			仏教学Ⅱ	必	2
	東アジア近現代史	選	2			宗教学	必	2
	東南アジア近現代史	選	2			哲学	必	2
	南アジア近現代史	選	2		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	倫理学	必	2
	日中交流史	選	2			社会科教育法Ⅰ	必	2
	地理学 (地誌を含む。)	人文地理学	必			2	社会科教育法Ⅱ	必
自然地理学		必	2	社会科・地歴科教育法Ⅰ		選	2	
地誌学		必	2	社会科・地歴科教育法Ⅱ		選	2	
東アジア地誌		選	2	社会科・公民科教育法Ⅰ		選	2	
海域文化交流論		選	2	社会科・公民科教育法Ⅱ	選	2		
シルクロード文化交流論		選	2	2 単位以上修得すること				
イスラム地域文化論		選	2					
中国の少数民族文化		選	2					

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 44 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 28 単位)

「教育の基礎的理解に関する科目等」						
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目	単位	備考	
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育指導論	必	2	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	
	特別活動の指導法		教育方法論 (ICT の活用含む)	必	2	
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2	
	生徒指導の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	中等教育実習指導	必	1	
			教育実習Ⅰ	必	4	
			教育実習Ⅱ	選	2	
	教育実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	必	2	

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数：29単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数：27単位)

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第66条の6に定める科目」			
施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考
大学が独自に設定する科目	人権教育	必	2	日本国憲法	日本国憲法	必	2
	特別活動実習	必	1				
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。				体育	ウエルネス・スポーツ論	必	2
					ウエルネス・スポーツⅠ	選	1
					ウエルネス・スポーツⅡ	選	1
				外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	選	1
					英語Ⅱ	選	1
					韓国語Ⅰ	選	1
					韓国語Ⅱ	選	1
					中国語初級Ⅰ	選	2
					中国語初級Ⅱ	選	2
				情報機器の操作	情報処理基礎演習Ⅰ	必	1
					情報処理基礎演習Ⅱ	必	1
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3単位				「施行規則第66条の6に定める科目」の本学最低修得単位数：9単位			

「介護等の体験」(小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律による)					
介護等の体験 (障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験)	法定期間	本学実施	社会福祉施設	5日間	2年次に実施
	7日間		特別支援学校	2日間	

・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等						
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に定める科目	その他の事項		
1年次	前期	○日本史Ⅰ	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	履修説明会	
		○世界史Ⅰ			△ウエルネス・スポーツⅠ		
		○政治学概論Ⅰ			△英語Ⅰ		
		○経済学概論Ⅰ			△韓国語Ⅰ		
		○仏教学Ⅰ			△中国語初級Ⅰ		履修開始手続き
		○哲学			○情報処理基礎演習Ⅰ		
		○倫理学					
	○宗教学						
	後期	○日本史Ⅱ	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツⅡ	履修オリエンテーション	
		○世界史Ⅱ	○教育心理		△英語Ⅱ		
		○政治学概論Ⅱ			△韓国語Ⅱ		
		○経済学概論Ⅱ			△中国語初級Ⅱ		
		○仏教学Ⅱ			○情報処理基礎演習Ⅱ		
		△法律学(国際法を含む)					
△東アジア近現代史							
△東南アジア近現代史							
2年次	前期	△海域文化交流論	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き	
		○人文地理学	○特別支援教育論				
		○地誌学					
		△社会学概論					

	後期	△ビジュアル日本史	○教育課程論	○人権教育	介護等体験 (8月～3月 7日間)	
		△近代日本とアジア	○教育方法論 (ICT の活用 含む)			
		△日本思想史				
		△仏教美術史				
		○自然地理学				履修オリエンテーション
		△イスラム地域文化論				
		△東アジア地誌				
		△現代中国と教育				
3年次	前期	△日中交流史	○特別活動及び総合的な学 習の時間の指導法		履修継続手続き	
		△中国の少数民族文化	○生徒・進路指導			
		○社会科教育法 I				
		△社会科・地歴科教育法 I				
	後期	△社会科・公民科教育法 I			履修オリエンテーション	
		△シルクロード文化交流論	○道徳教育指導論	○特別活動実習		
		○社会科教育法 II	○学校教育相談			
		△社会科・地歴科教育法 II				
4年次	前期	△日本美術史	○中等教育実習指導		履修継続手続き	
			○教育実習 I			
	後期		○教職実践演習 (中・高)		免許状授与申請	

○高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

・目指す教員像

【教職に対する使命感】

- ・ 高等学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・ 教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・ 生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

【確かな学力と実践的指導力】

- ・ 教育の理念を踏まえ、生徒の学びを豊かにする教員
- ・ 世界と日本の歴史を諸側面から主体的に学び把握した教員
- ・ 世界の地理的事象の現状や問題点を深く理解した教員
- ・ アジア地域の歴史や文化についての学びを通じ、より多角的な歴史観・世界観を有する教員
- ・ 歴史を教訓とし、地球的視野をもって現代社会を捉える力を育成できる教員
- ・ 高等学校学習指導要領の内容を理解し、教科の特質に応じた学習過程の構築ができる教員
- ・ 現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・ 青年期の発達課題を理解し、個に応じた指導・支援ができる教員
- ・ アクティブ・ラーニングやICTを効果的に活用できる教員

【豊かな人間性】

- ・ 人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・ 仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わることのできる教員
- ・ 教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

・ 教職課程カリキュラム (2023 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める 科目	履修科目		単 位	備考	施行規則に定める 科目	履修科目		単 位	備考
日本史	日本史 I	必	2	4 単位以上修得すること	地誌	地誌学	必	2	
	日本史 II	選	2			東アジア地域入門	必	2	
	近代日本とアジア	選	2			東南アジア地域入門	必	2	
	仏教美術史	選	2			南アジア地域入門	必	2	
	日本美術史	選	2		各教科の指導法 (情報通信 技術の活用を含む。)	社会科・地歴科教育法 I	必	2	
外国史	世界史	必	2	6 単位以上修得すること	社会科・地歴科教育法 II	必	2		
	東アジア近現代史	選	2						
	東南アジア近現代史	選	2						
	南アジア近現代史	選	2						
	日中交流史	選	2						
	アジア芸能史	選	2						
	世界遺産論	選	2						
人文地理学・自然地理学	自然地理学	必	2	4 単位以上修得すること					
	人文地理学	必	2						
	海域文化交流論	選	2						
	イスラム地域文化論	選	2						
	シルクロード文化交流論	選	2						
	中国の少数民族文化	選	2						

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 34 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)

「教育の基礎的理解に関する科目等」							
教育職員免許法施行規則に定める科目名等				履修科目		単 位	備 考
科目名	科目に含めることが必要な事項		単 位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	中等教育原理	必	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法		8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	特別活動の指導法			教育方法論 (ICT の活用含む)	必	2	
	教育の方法及び技術				生徒・進路指導	必	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			学校教育相談		必	
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法		3	中等教育実習指導	必	1	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法			教育実習 I	選	4	
				教育実習 II	選	2	
	教育実践演習		2	教職実践演習 (中・高)	必	2	

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考				
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2				
		特別活動実習	必	1	体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	1				
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。							女性とウエルネスⅠ	選	1	1 単位以上修得すること			
											女性とウエルネスⅡ	選	1
								外国語コミュニケーション	2	英語スキルズⅠ	選	1	2 単位以上修得すること
										英語スキルズⅡ	選	1	
										フランス語Ⅰ	選	1	
										フランス語Ⅱ	選	1	
										中国語Ⅰ	選	1	
										中国語Ⅱ	選	1	
										韓国語Ⅰ	選	1	
								韓国語Ⅱ	選	1			
				数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理基礎演習	必	1					
						データサイエンス基礎演習	必	1					
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：8 単位									

・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○日本史Ⅰ	○教職入門		△女性とウエルネスⅠ	履修説明会 履修開始手続き
		○世界史			△英語スキルズⅠ	
		△アジア芸能史			△フランス語Ⅰ	
		○東アジア地域入門			△中国語Ⅰ	
		○東南アジア地域入門			△韓国語Ⅰ	
		○南アジア地域入門			○情報処理基礎演習	
	後期	△日本史Ⅱ	○中等教育原理		△女性とウエルネスⅡ	履修オリエンテーション
		△東アジア近現代史	○教育心理		△英語スキルズⅡ	
		△東南アジア近現代史			△フランス語Ⅱ	
		△南アジア近現代史			△中国語Ⅱ	
	△世界遺産論			△韓国語Ⅱ		
				○データサイエンス基礎演習		
2 年次	前期	○人文地理学	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き
		△海域文化交流論	○特別支援教育論		○ウエルネス・スポーツ論	
		○地誌学				
	後期	△近代日本とアジア	○教育課程論	○人権教育		介護等体験 (8月～3月 7日間) 履修オリエンテーション
		△仏教美術史	○教育方法論 (ICT の活用含む)			
		○自然地理学				
	△イスラム地域文化論					
3 年次	前期	△日中交流史	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き
		△中国の少数民族文化	○生徒・進路指導			
		○社会科・地歴科教育法Ⅰ				
	後期	△シルクロード文化交流論	○学校教育相談	○特別活動実習		履修オリエンテーション
		○社会科・地歴科教育法Ⅱ				
4 年次	前期	△日本美術史	○中等教育実習指導			履修継続手続き
			△教育実習Ⅰ			
			△教育実習Ⅱ			
	後期		○教職実践演習 (中・高)			免許状授与申請

・ 教職課程カリキュラム (2022 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める 科目	履修科目		単 位	備考	施行規則に定める 科目	履修科目		単 位	備考
日本史	日本史Ⅰ	必	2	8 単位以上修得すること	地誌	地誌学	必	2	
	日本史Ⅱ	必	2			東アジア地誌	必	2	
	ビジュアル日本史	選	2		各教科の指導法（情報通信 技術の活用を含む。）	社会科・地歴科教育法Ⅰ	必	2	
	近代日本とアジア	選	2				社会科・地歴科教育法Ⅱ	必	
	日本思想史	選	2						
	仏教美術史	選	2						
	日本美術史	選	2						
外国史	世界史Ⅰ	必	2	8 単位以上修得すること					
	世界史Ⅱ	必	2						
	東アジア近現代史	選	2						
	東南アジア近現代史	選	2						
	南アジア近現代史	選	2						
	日中交流史	選	2						
	アジア芸能史	選	2						
人文地理学・自然地理学	人文地理学	必	2	4 単位以上修得すること					
	自然地理学	必	2						
	海域文化交流論	選	2						
	イスラム地域文化論	選	2						
	シルクロード文化交流論	選	2						
	中国の少数民族文化	選	2						
「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 40 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)									

「教育の基礎的理解に関する科目等」						
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目	単 位	備 考	
科目名	科目に含めることが必要な事項	単 位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	
	特別活動の指導法		教育方法論（ICT の活用含む）	必	2	
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	中等教育実習指導	必	1	
			教育実習Ⅰ	選	4	
			教育実習Ⅱ	選	2	
	教育実践演習	2	教職実践演習（中・高）	必	2	
「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)						

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」							
施行規則に定める科目		履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目		履修科目		単位	備考
大学が独自に設定する科目	12	人権教育	必	2		日本国憲法	2	日本国憲法	必	2	
		特別活動実習	必	1		ウエルネス・スポーツ論	必	2			
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。					体育	2	ウエルネス・スポーツ I	選	1	1 単位以上修得すること	
							ウエルネス・スポーツ II	選	1		
					外国語コミュニケーション	2	英語 I	選	1		2 単位以上修得すること
							英語 II	選	1		
							韓国語 I	選	1		
							韓国語 II	選	1		
							中国語初級 I	選	2		
							中国語初級 II	選	2		
					情報機器の操作	2	情報処理基礎演習 I	必	1		
							情報処理基礎演習 II	必	1		
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位						「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：9 単位					

・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等						
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項		
1 年次	前期	○日本史 I	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	履修説明会	
		○世界史 I			△ウエルネス・スポーツ I		
					△英語 I		履修開始手続き
					△韓国語 I		
					△中国語初級 I		
	後期				○情報処理基礎演習 I	履修オリエンテーション	
		○日本史 II	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツ II		
		○世界史 II	○教育心理		△英語 II		
		△東アジア近現代史			△韓国語 II		
		△東南アジア近現代史			△中国語初級 II		
△南アジア近現代史			○情報処理基礎演習 II				
△アジア芸能史							
2 年次	前期	△海城文化交流論	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き	
		○人文地理学	○特別支援教育論				
		○地誌学					
	後期	△ビジュアル日本史	○教育課程論	○人権教育		介護等体験 (8月～3月 7日間)	
		△近代日本とアジア	○教育方法論 (ICT の活用含む)				
		△日本思想史					履修オリエンテーション
		△仏教美術史					
		○自然地理学					
		△イスラム地域文化論					
	○東アジア地誌						
3 年次	前期	△日中交流史	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き	
		△中国の少数民族文化	○生徒・進路指導				
		○社会科・地歴科教育法 I					
	後期	△シルクロード文化交流論	○学校教育相談	○特別活動実習		履修オリエンテーション	
		○社会科・地歴科教育法 II					
4 年次	前期	△日本美術史	○中等教育実習指導			履修継続手続き	
			△教育実習 I				
	後期		△教育実習 II			免許状授与申請	
		○教職実践演習 (中・高)					

○高等学校教諭一種免許状（公民）

・目指す教員像

【教職に対する使命感】

- ・ 高等学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・ 教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・ 生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

【確かな学力と実践的指導力】

- ・ 教育の理念を踏まえ、生徒の学びを豊かにする教員
- ・ 政治や経済をはじめとする現代社会の仕組みを自ら深く把握した教員
- ・ 現代社会の抱える諸問題を理解し、専門的知識をもとにその改善策を提案できる教員
- ・ 仏教を始め多様な世界観、人生観を理解し、人間としての生き方・在り方を考察できる教員
- ・ 特にアジアの現状の諸側面を理解した上で、社会に参画する力を育成できる教員
- ・ 高等学校学習指導要領の内容を理解し、教科の特質に応じた学習過程の構築ができる教員
- ・ 現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・ 青年期の発達課題を理解し、個に応じた指導・支援ができる教員
- ・ アクティブ・ラーニングやICTを効果的に活用できる教員

【豊かな人間性】

- ・ 人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・ 仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わることのできる教員
- ・ 教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

・教職課程カリキュラム (2023 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考
「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む)」	法律学(国際法を含む)	必	2	4 単位以上修得すること	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	仏教と人間Ⅰ	必	2	2 単位以上修得すること
	政治学概論(国際政治学を含む)	必	2			仏教と人間Ⅱ	必	2	
	アジア政治論	必	2			哲学	選	1	
	時事アジア	選	2			倫理	選	1	
	NPO・NGO論	選	2			心理	選	1	
	東アジア地域協力論	選	2			アジアと仏教	選	2	
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論	必	2	8 単位以上修得すること	各教科の指導法(情報付心技術の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ	必	2	
	経済学概論(国際経済学を含む)	必	2			社会科・公民科教育法Ⅱ	必	2	
	アジア経済論	必	2						
	アジア女性労働論	選	2						
	多文化共生論	選	2						
	現代中国論	選	2						
	現代韓国論	選	2						
	現代東南アジア論	選	2						
	現代南アジア論	選	2						

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 34 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)

「教育の基礎的理解に関する科目等」						
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目		備考	
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	特別活動の指導法		教育方法論(ICTの活用含む)	必	2	
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	中等教育実習指導	必	1	
			教育実習Ⅰ	選	4	
			教育実習Ⅱ	選	2	
	教育実践演習	2	教職実践演習(中・高)	必	2	

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」						
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2	
		特別活動実習	必	1	体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	1	
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。							女性とウエルネス I	選	1	1 単位以上修得すること
							女性とウエルネス II	選	1	
							英語スキルズ I	選	1	2 単位以上修得すること
							英語スキルズ II	選	1	
							フランス語 I	選	1	
							フランス語 II	選	1	
							中国語 I	選	1	
							中国語 II	選	1	
							韓国語 I	選	1	
							韓国語 II	選	1	
			外国語コミュニケーション	2		情報処理基礎演習	必	1		
			数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		データサイエンス基礎演習	必	1		
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：8 単位						

・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等						
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項		
1 年次	前期	○政治学概論(国際政治学を含む)	○教職入門		△女性とウエルネス I	履修説明会	
		○経済学概論(国際経済学を含む)			△英語スキルズ I		
		○仏教と人間 I			△フランス語 I		
		△哲学			△中国語 I		履修開始手続き
					△韓国語 I		
	後期				○情報処理基礎演習		
		○法学 (国際法を含む)	○中等教育原理		△女性とウエルネス II	履修オリエンテーション	
		○仏教と人間 II	○教育心理		△英語スキルズ II		
		△倫理			△フランス語 II		
		△心理			△中国語 II		
△アジアと仏教			△韓国語 II				
2 年次	前期	○社会学概論	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き	
		△現代韓国論	○特別支援教育論		○ウエルネス・スポーツ論		
		△現代東南アジア論					
		△現代南アジア論					
	後期	○アジア政治論	○教育課程論	○人権教育		介護等体験 (8月～3月 7日間)	
		△NPO・NGO 論	○教育方法論 (ICT の活用含む)				
		△東アジア地域協力論					
		○アジア経済論					
		△現代中国論					
3 年次	前期	△アジア女性労働論	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		履修継続手続き		
		○社会科・公民科教育法 I	○生徒・進路指導				
	後期	△時事アジア	○学校教育相談	○特別活動実習		履修オリエンテーション	
		△多文化共生論					

		○社会科・公民科教育法Ⅱ				
4年次	前期		○中等教育実習指導			履修継続手続き
			△教育実習Ⅰ			
			△教育実習Ⅱ			
	後期		○教職実践演習（中・高）			免許状授与申請

・教職課程カリキュラム (2022 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」							
施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む)」	法学(国際法を含む)	必	2	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	仏教学Ⅰ	必	2
	政治学概論Ⅰ	必	2		仏教学Ⅱ	必	2
	政治学概論Ⅱ	必	2		宗教学	選	2
	アジア政治論	選	2		哲学	選	2
	時事アジア	選	2		倫理学	選	2
	NPO・NGO論	選	2		心理学	選	2
	国際政治学	選	2		アジアと仏教	選	2
	移民文化論	選	2		各教科の指導法(情報付心技術の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ	必
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論	必	2	社会科・公民科教育法Ⅱ	必	2	6単位以上修得すること
	経済学概論Ⅰ	必	2				
	経済学概論Ⅱ	必	2				
	現代韓国事情	選	2				
	現代インド事情	選	2				
	現代東南アジア事情	選	2				
	現代中国と教育	選	2				
	アジア経済論	選	2				
	アジア女性労働論	選	2				
	多文化共生論	選	2				
「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 40 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)							

「教育の基礎的理解に関する科目等」					
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目	単位	備考
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2
	特別活動の指導法		教育方法論(ICTの活用含む)	必	2
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	中等教育実習指導	必	1
			教育実習Ⅰ	選	4
			教育実習Ⅱ	選	2
	教育実践演習	2	教職実践演習(中・高)	必	2
「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)					

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」							
施行規則に定める科目		履修科目		単 位	備考	施行規則に定める科目		履修科目		単 位	備考
大学が独自に設定する科目	12	人権教育	必	2		日本国憲法	2	日本国憲法	必	2	
		特別活動実習	必	1			ウエルネス・スポーツ論	必	2		
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。					体育	2	ウエルネス・スポーツ I	選	1	1 単位以上修得すること	
					外国語コミュニケーション	2	ウエルネス・スポーツ II	選	1		
							英語 I	選	1	2 単位以上修得すること	
							英語 II	選	1		
							韓国語 I	選	1		
							韓国語 II	選	1		
					中国語初級 I	選	2				
					中国語初級 II	選	2				
					情報機器の操作	2	情報処理基礎演習 I	必	1		
							情報処理基礎演習 II	必	1		
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位						「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：9 単位					

・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○政治学概論 I	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	履修説明会 履修開始手続き
		○経済学概論 I			△ウエルネス・スポーツ I	
		○仏教学 I			△英語 I	
		△哲学			△韓国語 I	
		△倫理学			△中国語初級 I	
		△宗教学			○情報処理基礎演習 I	
	後期	○法学 (国際法を含む)	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツ II	履修オリエンテーション
		○政治学概論 II	○教育心理		△英語 II	
		○経済学概論 II			△韓国語 II	
		○仏教学 II			△中国語初級 II	
		△心理学			○情報処理基礎演習 II	
		△アジアと仏教				
2 年次	前期	○社会学概論	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き
		△現代韓国事情	○特別支援教育論			
		△現代インド事情				
		△現代東南アジア事情				
	後期	△アジア政治論	○教育課程論	○人権教育		介護等体験 (8月～3月 7日間) 履修オリエンテーション
		△NPO・NGO 論	○教育方法論 (ICT の活用含む)			
		△アジア経済論				
		△現代中国と教育				
3 年次	前期	△国際政治学	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き 履修オリエンテーション
		△アジア女性労働論	○生徒・進路指導			
		△多文化共生論				
		○社会科・公民科教育法 I				
	後期	△時事アジア	○学校教育相談	○特別活動実習		
		△移民文化論				
		○社会科・公民科教育法 II				

4 年次	前期		○中等教育実習指導			履修継続手続き
			△教育実習 I			
			△教育実習 II			
	後期		○教職実践演習 (中・高)			免許状授与申請